

Q	A
<p>S 5 6 以前で塩分量が1.2cl-k g / m^3以上ある建物として判断され、鉄筋腐食によるコンクリート剥離・剥落がベランダ・庇等に集中して構造体には一切見当たらない場合、解体せずベランダ・ひさしを切り落とし改修工事を行い住み続けるということは危険でしょうか？</p>	<p>傷んだところだけを撤去あるいは更新する方法はありだと思えます。ただ、セミナーで説明したように部材が華奢な建築の場合、維持管理の目安の塩分量は1.2kg/m^3とすべきだと思えますので、今健全な躯体であっても監視の目を離さず、ひび割れが出始めた段階で錆鉄筋の防食とコンクリートの断面修復をすることを薦めます。当然無収縮モルタルではなく、亜硝酸リチウム含有モルタルを使ってください。</p>
<p>間知ブロックの上にCB塀が設置され、傾いています。改修を予定していますが、CB撤去後に間知ブロックをコア抜きしてフェンスを設置しようと考えていますが、適切な処置でしょうか？（市立中学校です）</p>	<p>間知ブロックに穴を空けてフェンス柱を挿入して、モルタルで充填するのですか。その様な方法が建築基準法や施工令、学会規準にあることが確かめられているのなら（私は知りませんが）良いでしょうが、公共建築物で間知の上と言うことは下の地盤から相当の高さがあると思えますので、出来たら相当危険な塀になると思えます。基本的に間知は自重と重ねることで安定していますので、隙間があるとはいえ風圧や地震で上部の間知に局部的に曲げモーメントが作用すると危険な気がします。</p>
<p>塀の耐震補強計算ソフトの使い方（入力方法）を詳しく説明してほしいです。</p>	<p>罫線(枠線)のなかの、水色の数値を任意に変えれば、計算結果が変わります。メニューになっているところは表示されたメニューを選択するだけで計算結果が変わります。基本的にロックを掛けていませんので、それ以外のところをいじるとプログラム自体が変更されてしまいますので、いじらないことを薦めます。オリジナルをコピーしておいて、コピーの方を扱うのが良いと思えます。EXCELで特定のセルを指定すると、画面の上の方に式が出てきますので興味があれば覗いてください。</p>